

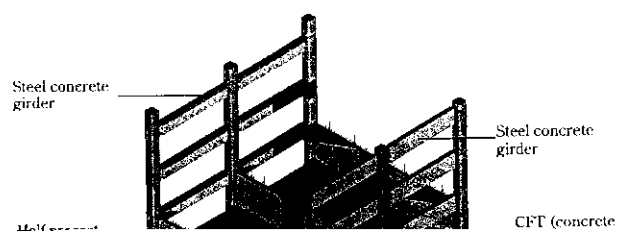
工業化集合住宅「K-FLAT」*1

長島 靖*2 金田 順光*3 佐藤 利弘*4

Yasushi Nagashima Masamitsu Kaneda Toshihiro Sato

1 はじめに

中高層集合住宅建設においてはコンクリート系の構造が一般的であるが、K-FLAT は鉄をベースにコンクリートの長所を取り込んだCFT-PCa工法を核とし、工業化を徹底した新しい建設システムで



2.2 インフィル

主な工業化内装部品について Fig. 2 に示す。スケルトンとは完全に分離しており躯体内への埋め込み配管等は一切無い。

(1) ウィンドウォール

窓枠は、躯体に埋め込み、ガラスは現場施工。

現場施工の省力化、無足場化を徹底した。

(2) 1フロアー8住戸14階建ての場合の工期は12ヶ月である。在来SRC構造に比べ5ヶ月程度の短縮ができる。

(3) 高い耐震性を保ちつつも柱の断面積は従来のSRC構造に比べ半分以下であり、また室内に梁型が出ないため有効空間が広

んだ躯体に乾式工法にて取付を行う。単一工種による施工を可能にした。

(4) 内装部品の大部分はユニット化され、構造体とは完全に分離してはいるためリノベーションにも柔軟に対応できる。

(2) 設備ボックス

スチールフレームに住戸内の設備配管、給排気ダクト、電気配線などをセットした分割ユニットを工場製作し、現場施工を簡略化した。

(3) 間仕切パネル

間仕切装置の躯体床スラブ面にガイド材を取り付け、木下地

4 おわりに

本開発は川崎製鉄エンジニアリング事業本部が中心となり、グループ会社の力を結集して実現したものである。本工法により文京区本郷に建てられた2階建ての実験住戸では、更なる改良を進めている。

にプラスターボードを貼りパネル化したものを現場で建て込む。

(4) 電気配線ユニット

配線は、躯体に埋め込み、配線ボックスは現場施工。

るが、住宅性能的には十分なレベルまで達していると考えている。デベロッパー、ゼネコン各社に対しても積極的な販売活動を展開していきたい。